

町の街路灯及び防犯灯の
LED化について

森 定雄 議員

街路灯・防犯灯の老朽化が進んでいるが、現在把握している数と種類、設置年数や劣化具合等の状況は。

LEDを使用するメリツトとして、長寿命、省エネ、虫を寄せ付けにくいという点がある。環境省のLED照明導入促進事業制度を利用したLED化について、本町の今後の計画はどうなっているのか。

現在の街路灯・防犯灯とLED化した場合の維持コストの比較。取付費用やリース料等の見積は。

答 福井町長
街路灯のLED化は、経

費削減だけでなく地球環境の観点からもいつかは実施する必要がある。現時点ではインシャルコストが高額なことから実現には至っていないが、今後調査を進め、少しでも町の利益につながるようであれば検討したい。

答 寒葉建設課長

街路灯・防犯灯の設置総数は723灯。老朽化については設置後20年以上経過している物多数ある。電気代は月平均、約40万円、年間維持費は、約480万円。修理費等は年ごとに異なるが昨年は180万円。

LED化した場合の比較は、40W型で15年間のランニングコストを比較した場合、約2割の削減が見込める。また、光源寿命においてもLEDは水銀灯の約5倍。今後予算の許す限りLED化を進めていきたい。



LED化した街路灯

LED照明導入促進事業制度は、今後の事業内容が

固まり次第検討したい。

AEDの設置や周知、

補助について

答 森議員

2004年に厚生労働省に認可されたAEDについて、本町での設置場所と設置数は。また、メンテナンスはどのように対応しているのか。AEDの設置場所

答 福井町長

日本では、毎年5万人以上が心臓突然死で亡くなっており、少しでも多くの命を救うため一般市民によるAEDの使用が求められている。今後、必要箇所を再チェックし、メンテナンスタウン民の皆様への研修についても関係組織と計画的に実行していきたい。

答 百々健康生活課長

現在、把握している本町のAED設置場所は、町役場、海の総合文化センター、小学校、保育園、町民体育館、旧牟岐小体育館、牟岐警察署、出羽島診療所、少年自然の家、緑風荘、和楽、農協本所、農協給油所、阿波銀行、大竹組、海部病院、消防組合の計17箇所19台。

メンテナンスタウンは、個々の管理者が対応しており、県のホームページにAEDマップが掲載されている。使用方法の周知については、消防組合と美波保健所の指導のもと、数回の救急救命講習等を開催している。

や使用法の周知に関して、民間にはどのようなことを行っているのか。今後AEDを常備したいと考えている自治会や企業等に対しての支援策は。